

農園通信

2013年11月1日発行



サツマイモの収穫!



10月21日からサツマイモの収穫を行いました。台風の影響で雨が多く1週間繰り越しての収穫作業。待ってましたとばかりに毎日収穫の学生で賑わいました。

収穫量は例年に比べて少なめ。それでもサツマイモが土の中から顔を出すと歓声が上がり、掘り進めて思ったより短かったり小さくても大笑い。多く収穫できることに越したことはありませんが、自分で苗を植えて半年間かけて育てた経験も掛け替えのない“収穫”になるのではと思います。

収穫手順



準備OK→芋ツルを刈り取る→株元のまわりからイモを掘り当てる→品種ごとに計量・お持ち帰り

笑ったひと 泣いたひと・・・

毎年のことですがサツマイモの収穫量は個人差があります。同じ時期に同じ品種を植えていますが、苗の活着状況(根付いたかどうか)、その後の生育環境(主に除草が行き届いているかどうか)でイモの肥大に大きく影響します。

今年はよく除草をしていたはずの学生でも場所によっては不作の畑も多く、しょぼりして収穫を終える学生の姿も見られました。ひとつひとつ入念に作業を確認して行えば、早めに対処できたのかもしれませんが、他の授業やレポートも大忙しの栄大生。さらに今年は早い時期から猛暑続きで、農作業にかかる時間が短くなるのも無理はありません。

あまり畑に来られなかった学生も、自分の畑はずっと気がかりだったようで、たとえ収穫量が少なくても大事そうに持ち帰っている姿が印象的でした。



同じように来ていたのにこの差・・・



↑こんなこともあります・・・
小動物に食べられた跡(涙)